

島内の
古地図展

描かれた島内

明治の村絵図



明治初期の地引絵図を展示

初
公開

- ◆安曇郡南中村地引絵図（年代不明 205mm×180mm）
- ◆安曇郡北方村地引見取絵図（明治6年4月 238mm×154mm）
- ◆安曇郡上平瀬村田畑其他地引絵図（明治6年4月 167mm×107mm）
- ◆安曇郡下平瀬村田畑荒地地引絵図（年代不明 260mm×148mm）
三枚之内木曾川ヨリ西
- ◆安曇郡下平瀬村田畑荒地地引絵図（年代不明 210mm×154mm）
三枚之内木曾川ヨリ東

明治7年10月25日小宮村、高松村、青島村、南中村、北中村、東方村、町村、犬飼新田村、北方村、上平瀬村及び下平瀬村が合併し嶋之内村となりました。

先般、島内公民館の書庫を整理した際、嶋之内村になる前に描かれた南中村、北方村、上平瀬村、下平瀬村（川の西と東）の「地引絵図」が見つかりました。

島内村に合併をしてから145年、昭和の松本市への合併から65年目の今年、平成最後の月、新元号を前に明治の時代に思いを馳せてみてください。

地引絵図とは…

田畑の面積・位置等、土地利用の様子や区画・所有者等を記した絵図の事をいいます。明治初めのころ、地租改正などに伴い、政府の命令を受けて、全国の村々で作成されました。

会場・島内公民館ギャラリー

「ピアツザ」

会期・4/9(火)～26(金)

午前9時～午後5時

(土日祝除く／最終日午後3時まで)